

様式2 (★指定・候補ルート共通)

ベストシーニックバイウエイ・プロジェクト2012

ルート名	大雪・富良野ルート、十勝シーニックバイウエイ 十勝平野・山麓ルート、十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間、十勝シーニックバイウエイ 南十勝夢街道【4ルート連携事業】	
活動の名称	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	
活動期間	平成23年度～平成24年度	
評価の視点 ※相当すると思われるものに○ (複数選択可)	指 定	①活動の持続性、②活動の地域への浸透・波及、 ③ルート運営の基盤強化、④ブランド形成・活用、 ⑤人材育成の充実 ⑥その他シーニックバイウエイ北海道の推進への寄与
	候 補	①活動目的・内容の分かりやすさ、②ルートとしての目標の共有、 ③幅広い参加、連携への可能性(地域住民、各種団体、民間、行政等) ④シーニックバイウエイ北海道の活動として今後の展開可能性(地域資源の発掘・活用、人材の発掘・育成、活動の継続等)

1. アピールポイント

●人と未来をつなぐ100年の木プロジェクトとは。

北海道観光の道しるべとなる「サインツリー」を、シーニックバイウエイ北海道の4ルート(大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道)と北海道ガーデン街道協議会(注1)とが広域連携し、地域が一体となって上川～十勝間の幹線道路の沿道に植樹する事で、道路交通環境の向上を図るとともに、訪れる人々に地域の「要所」、「景観の優れた(シーニック)箇所」、「並木」、「花壇」や「庭園(ガーデン)」を案内し、おもてなしを行うものである。

【注1】北海道ガーデン協議会

北海道の代表的な美しい7つのガーデンが集中している、旭川～富良野～十勝を南北に結ぶ全長約220kmの街道を組織運営するもの。いずれのガーデンも北海道ならではの気候や景観を生かして個性にあふれ、魅力に溢れた庭づくり・景観を展開する現代の日本を代表する観光庭園団体。



＜植樹するサインツリー＞

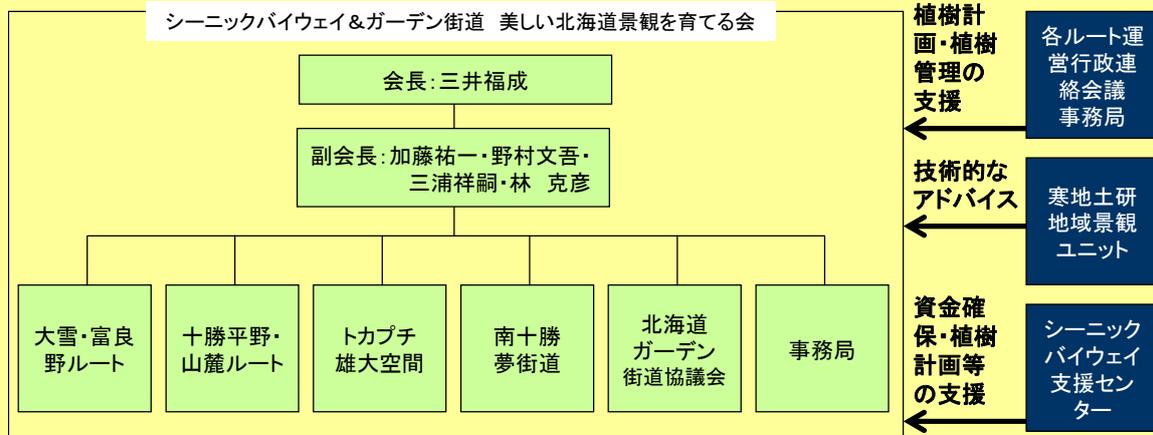
樹種：ヤマナラシ‘エレクタ’
ヤナギ科ポプラ(ハコヤナギ)属

【選定根拠】

1. 在来由縁である(在来種ヤマナラシの改良品種。)
2. 周辺に配慮している(一般的なポプラとは違い、花粉や綿毛をつけない。)
3. 維持管理が容易である(樹幅が細く、幹も堅く、風に強い。街路樹向けに改良。) 最高樹高12m、最終樹幅3m
4. 目立つ(他種との違いが認識しやすい)

●継続的に植樹及び維持管理出来る体制づくり・植樹計画ルールの方策

約2年間で約シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会を立ち上げ、継続的に植樹及び維持管理が行える仕組みづくりを行った。



また、景観に配慮した植樹方法や地域で行う維持管理方法について定めた計画書を策定し、さらに地域ごとに現地調査などを行い、効果的な植樹箇所を選定した。今後2年間で200本の植樹を行う予定である。※基本的に植樹箇所は、国道・道道・町道などの敷地とし、道路占用許可を受けて植樹する。

●植樹祭の開催

第1回目の植樹祭を平成24年5月19日に9:30～西達布駐車帯（富良野市、大雪・富良野ルート）、12:00～狩勝峠駐車帯（新得町、十勝平野・山麓ルート）、14:00～芽室駐車帯（芽室町、トカプチ雄大空間）、16:00～中札内IC駐車帯（中札内村、南十勝夢街道）4会場同日開催とした。

各会場には植樹地域の首長のほか、商工会議所会頭、商工会会長、地域住民、連携4ルート代表、ガーデン街道関係者、シーニック団体等が参加した。



西達布駐車帯



狩勝峠駐車帯



芽室駐車帯



中札内IC駐車帯

2. 創意工夫、苦労した点

- ・看板の乱立などを防ぎ、生きて成長し、冬でもシルエットで視認できる、北海道らしい景観の修景を行いながら、適切な誘導案内や目的地案内を行うことができるように、特徴的な樹形のサインツリーを選定した。
- ・各ルートにおける既存の街路樹や道路敷地の状況が異なるため、植樹できる箇所の選定に苦労した。
- ・地域住民と協働でサインツリーの植樹や維持、管理を行う方法を模索し、地域住民の景観意識を向上し、地域愛着の醸成とともに、継続的な維持管理体制づくりを目指す。
- ・広域で連携することで、連携意識の醸成が期待され、シーニックバイウェイやガーデン街道などの広域観光ブランドづくりのきっかけとする。
- ・北海道ココ・コーラボトリング（株）と連携することで、植樹活動・PR活動等の取組の幅が広がった。

